眠りながら飛ぶ

藤井颯太郎

1995年生まれ。兵庫県立定環境高校、調料在学中、公司制織、を推議は、B破の修工地がた戦曲にアルエリリーズの演出を手掛けたり、NHK・進長アレザル説はあらなかん。に出演したが、ABCテレレビ「HEE MAN PROMETEST SHOWNEN」でAえり、RECテレレビ「HEE MAN PROMETEST SHOWNEN」でAより、RECテレレビ「HEE MAN PROMETEST SHOWNEN」でAより、RECFレビデル記載した。

機内食のお手拭き渡そうとしたとき。そのガキ側の窓の外に信じられないものがみえた。カモメ。雲の上飛んでる飛行機の横を、何 くて、振り返ると反対側の窓の外はもう夜になってて、機内の全員が眠ってんのよ。絶対おかしい、また知らんまに寝ちゃったわと 羽かカモメが並んで飛んでんのよ。最初あれ?くらいの違和感だったんだけど、いや、ただごとじゃないなって思った頃にはもう遅 いのガキのくせに近くに親がいなくて、挙句オレンジジュース溢しちゃったらしくて慌て出して、マジ勘弁してくれよって思いながら、 ちっせえ画面でニュー のむようにしてて、いつもは割と素直に寝ちゃうんだけどその日は全然寝付けなくて、なんかイライラしてきて。左隣のおっさんは て、こないだ飛行機乗った時はそうも言ってらんなかった代表例なんだけど。こういう、他人の前で寝なきゃいけない時は一応、眠剤 て、家族とか恋人とかでも絶対に無理なんだよね。寝てる間の自分が怖いから。とはいえ、そうも言ってらんない時もあるにはあっ コントロールできない自分がいる」って怖いよねってことが言いたかったわけで、だから、寝るときはなるべく一人で寝るようにして な、まで成長してる。最初のうちは気持ち悪かったけど、最近はまぁ夢ってわかりやすくて便利だなって感じ。で話戻ると、「自分が んだけどガラスの向こうからこっちを覗いてくる。怖いのは、その子供はたぶんちょっとずつ大きくなってて、最近は七歳くらいか 思い出せないけど、夢の中に毎回、おなじ子供が出てくるようになった。大体そいつは窓とか、水槽とか、グラスとか、なんでもい そが処理落ちしてんなーみたいな時は大体夢。なんだけどまぁ、最近割と、もっと簡単に夢だってわかる特徴があって。 入ってきた時は八割がた夢だし、教科書開いても文字はあるのになんて書いてあるか読めなかったら九割がた夢だし、あー俺の脳み と「夢を見極めるコツ」みたいなのが掴めるようになってきて。とにかく、ありえないことが起きてる時はやばい。イルカとかが教室 くらい痛いんだけどまつ毛一本動かせなくて、死ぬほど苦しい。目覚めたら汗だく。で、流石に子供ん頃からそういうのが続いてる 二十八になる俺は、そのうち七歳くらいは「俺の知らない俺」として過ごしたわけだ。俺の場合さらに、ナルコレプシ 普通に成人一人生成できちゃうくらい寝ちゃってるのウケるし怖い。要するに少なくとも 自分も知らない自分が存在するってのが怖いよなシンプル。人間が生まれてから死ぬまでの間、大体二十年以上は寝てるらしいんだけど、 もお構いなしだし、彼女と飯食って笑ってても次の瞬間トプわけ。自分で言うのもなんだけど、誰も悪くないっていうか、予告とか ことができないということらしくて、この科学的事実に残り四分の三ですらうまくコントロールできてない俺は心底絶望す けど、浅いんすね眠りが。子供の頃から四六時中、異常なくらい眠くて、バイト中レジ打ってて 一気にマジ、シームレスな感じで夢んなか入っちゃうから、現実と夢の境目に気づけなくって。高校ん時とか授業中に武装 入ってきて、撃たれたと思ったら即、白衣着たお医者さんとかが入ってきて手術始めるの、麻酔なしで。ありえない シネマパラダイス見てて、マジ世界はえらく小さくなったもんだなって感じだし、右っ側のやつは小学生くら 自分の人生の四分の一はコントロールす も寝るし、上司に怒られてる途中で -って言うんで いつからか る。今



員が眠っていた。廊下に座っているCAさんがつまんなさそうな顔で携帯いじりながらまだ起きてたんで、あ、現実だと思った。隣 始めた。雲抜けても落下は止まんなくって、海面に叩きつけられる直前、目が覚めた。目が覚めると、そこは夜だった。周りの乗客全 うか落下 全員自分だって話を聞いたことがあるんだけど、じゃあ「眠りながら飛んでる鳥がいる」なんていう、俺が知らないことを知ってるこ 論的にはカモメと同じ土俵に立っていて、つまり俺も眠りながら飛んでるんじゃないかって思ったのよね。で、それを言ってみたと 俺とその子だけが起きていた。「あの鳥ってね、眠りながら飛んでるんですよ」やることなくて窓の外のカモメを見てたら、その子が 隣のおっさんの映画に興味が湧いたのか、小さな画面を斜めからじっと見入っていた。何百人も乗っているはずのこの飛行機の中で、 メが悠然と眠りながら飛んでいた。カモメがゆっくり降下し雲の中へ消えていくのを見ながら、俺はオレンジジュースを一口含んだ。 た痕跡もなにもなかった。どこまで夢だったんだろ。窓の向こうを見ると、カモメがいた。時速九百キロで飛ぶ飛行機と並んで、カモ る。俺が起きたのに気づいたCAさんは、立ち上がって、紙コップにオレンジジュースを入れて持ってきた。さっき俺がオレンジジュ が違ったのは、俺がそのおっさんのイヤホンの片耳を借りてて、なんか一緒に映画見てたこと。目の前には食べかけの機内食まであ のおっさんは寝たまま映画を放置してて、勝手に自動再生されたスタンドバイミーが虚しく上映されてた。寝る前と明らかに状況 なくて、覚悟して窓ガラス覗いたら、男の子はカモメにまたがってガラス越しに手を振ってきた。カモメがゆっくり降下してく、とい にはその子も窓に吸い込まれて外へ出ていった。目の前で人が飛行機の外に弾き出されたのなんて初めて見たから、うまく呼吸でき が一気に外に放り出された。雑誌とか機内食とか隣のおっさんのニューシネマバラダイスとか巻き上げて、吹っ飛んでって、最終的 らっていうわけ。ここで降りるからって。 ど、そのライフジャケットとかさ、そういうやつで遊ぶの結構アレだぞ!ってキツめに叱ったら、やっと目が合って、遊びじゃないか コントロールできない親がめちゃくちゃ嫌いなんだけど、無性に腹立ってきて、夢に対してそんなムキにならなくて良かったんだけ るって言いながら、座席下の普段あんま開けないところを開けて、ライフジャケット取り出して、着はじめた。俺は子供を躾ってか、 いつは何者なんだろ?なんで毎晩夢に出て来んの?聞きたいことは結構あったけど、とりあえず、親は?とだけ聞いてみたら、寝て ころ「お腹が空いた」って言うんで、俺の分の機内食あげたら、半分だけ食べて、残りは俺に返してくれた。昔、夢に出てくる人間は ることを鵜呑みにするなら、いま俺は寝てて夢見てるけど、もう半分の脳みそでは夢の中にいることを自覚してて、これはもはや理 話しかけてきた。カモメは脳みそ半分眠らせて休んで、その間にもう半分で羽ばたつかせて海を渡っていくらしい。この子が言って てるCAさんに、起きたらオレンジください……と控えめに囁いていた。可哀想だったから、その子の濡れた座席拭いてやってたら、 ンジジュースのおかわりを貰いに来たらしい。よく見るとそいつ、毎晩夢の中に出てきた「ガラスの向こうのあの子」だった。 爆睡 たら、また別のCAさんに話しかけてる子供がいて、興味本位で近づいてみたら、隣の席に座ってたガキだった。なんか溢したオ ぎるとは思いつつ、でも絶対気持ちスッキリしたくて、覚悟してトイレ行って、したわ。眠剤飲んじゃったから、しばらく目覚めら 思ったし、絶対おかしいんだけどタイミング悪いことに絶対トイレ我慢できなかったから、夢ん中でトイ **-スを注文したらしい。全く身に覚えがない。隣の子供が頼んだんだろうと思ったけど、右の席には誰もいなくて、荷物も、誰かがい** かもなぁと思って、覚悟決めた。トイレ出たらドアの前でCAさんたち爆睡してて、人の夢んなかで爆睡すんなよなとか思って していくと、俺たちの機体も前のめりに傾き始めて、カモメと一緒に落下してって、聞いたことのない音を立てながら揺れ その子がさ、窓開けたんだよね。飛行機の。開けた途端、機内にあったいろんなもの レ行くのはマジリスキ

